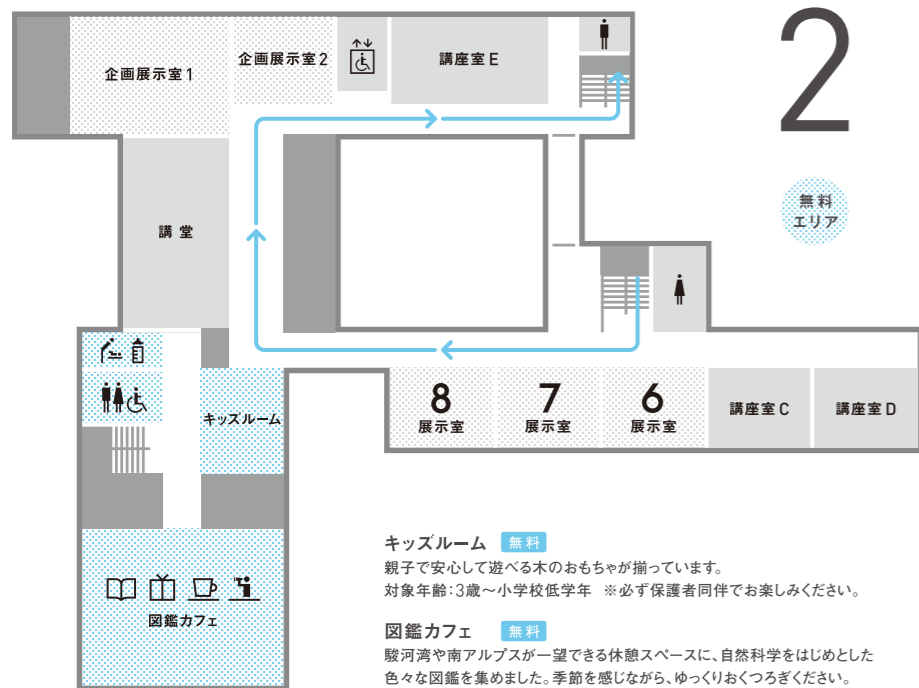


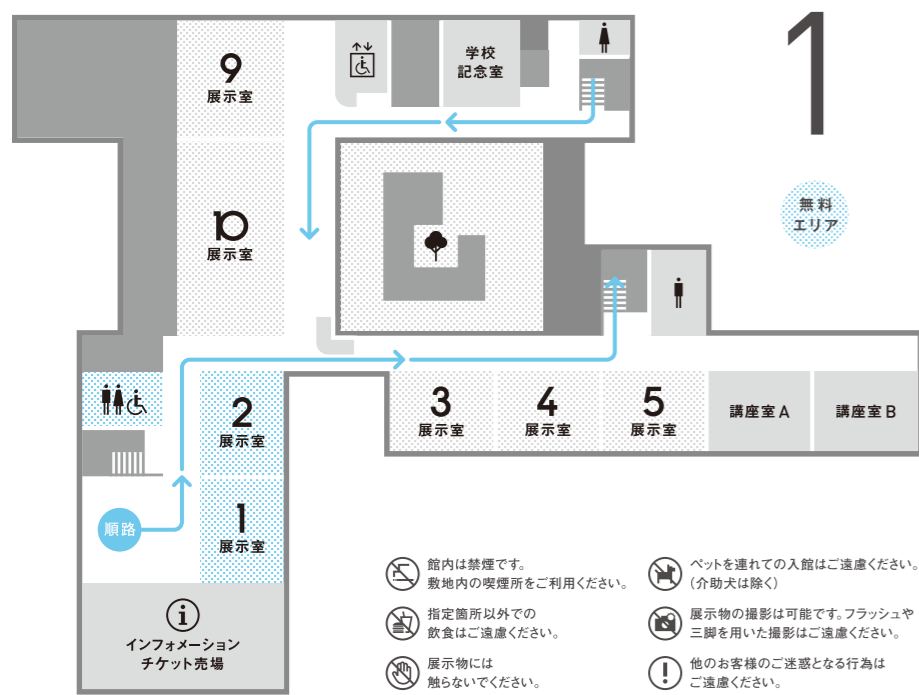
館内紹介

ついに開館の日を迎えたふじのくに地球環境史ミュージアム。館長以下スタッフ一同、来館をお待ちしています。



キッズルーム 無料
親子で安心して遊べる木のおもちゃが揃っています。
対象年齢：3歳～小学校低学年 ※必ず保護者同伴でお楽しみください。

図鑑カフェ 無料
駿河湾や南アルプスが一望できる休憩スペースに、自然科学をはじめとした色々な図鑑を集めました。季節を感じながら、ゆっくりおつろぎください。



- 館内は禁煙です。敷地内の喫煙所をご利用ください。
- ペットを連れての入館はご遠慮ください。(介助犬は除く)
- 指定箇所以外での飲食はご遠慮ください。
- 展示物の撮影は可能です。フラッシュや三脚を用いた撮影はご遠慮ください。
- 展示物には触らないでください。
- 他のお客様のご迷惑となる行為はご遠慮ください。

開館時間	午前10時から午後5時30分(最終入館は午後5時)	
休館日	・月曜日(祝日の場合は次の平日) ・年末年始(12月27日～1月3日)	
常設展 観覧料	個人(15歳以上 中・高校生、大学生等を除く)	300円
	団体(20人以上、1人につき)	200円
	・15歳未満の方 ・大学生以下の学生 ・70歳以上の方 ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者1名 他	無料



1 地球環境史との出会い 無料
地球環境史とは何か?海や大地に刻まれた記録は、人と自然の歴史を伝え、未来を照らす道しるべとなります。



2 ふじのくにのすがた 無料
ふじのくにの自然は、私たちの暮らしに豊かな恵みを与えてくれる一方で、時として脅威となり平穏な日常を奪います。



3 ふじのくにの海
日本一深い湾、駿河湾を有するふじのくにの海には、多種多様な水生生物がすみ、豊かな海の幸をもたらしてくれます。



4 ふじのくにの大地
あらゆる生物は、「食う-食われる」の食物網でつながっています。私たち人間も例外ではありません。



5 ふじのくにの環境史
縄文時代から現代に至る歴史の中で、ふじのくににすむ人と自然の関係は、どのように変化してきたのでしょうか?



6 ふじのくにの成り立ち
県内各地から産出する岩石や鉱石、そして化石が、ふじのくにの成り立ちや、大昔の自然や生物の存在を語ります。



7 ふじのくにの生物多様性
ふじのくにの変化に富む自然環境に育まれた多様な生物たちを、収集した多くの標本を通じて紹介します。



8 生命のかたち
ここは脊椎動物たちの教室。黒板の座席表を見ながら出欠をとってみましょう。返事はしてくれないと思いますが。



9 ふじのくにと地球
地球家族会議テーブルを囲んで、私たちが生きているふじのくにと地球の「7+1の環境リスク」を知りましょう。



10 ふじのくにと未来
心豊かに暮らすとはどういうことでしょうか。百年後の静岡が豊かであるために、私たちが今できることを考えます。



地球史の旅
展示室を回る200mの廊下を46億年の地球史に例え、この間地球上に起きた事件を17の標本箱に収めました。



企画展示室
ミュージアムが主催する企画展の会場として使用します。(内容により、別途観覧料をいただく場合があります)

MUSEUM DIARY

開館までの最後の3ヶ月、ふじのくに地球環境史ミュージアムは、展示室の整備が大詰めを迎え、まさに「日々進化するミュージアム」でした。

28.1.3 新春出前講座「昆虫の世界」in富士川楽座



ミュージアムキャラバン「昆虫の世界」の展示に併せて、当館研究員の岸本准教授による出前講座を行いました。年末年始の帰省ラッシュで賑わう東名高速道路のPAで、県内外の多くの皆さまにキャラバンを体験していただきました。

28.1.4 七人目の侍、登場



1月1日付けて着任した七人目の研究者、菅原大助准教授がミュージアムに初出勤しました。菅原准教授の専門分野は地質学。3つのプレート上に位置し、ジオパーク・伊豆半島を有する静岡県にとって必須の分野。ミュージアム開館に向け、欠かせない人材が揃いました。

28.1.27-2.28 第1期ミュージアムサポーター登録



1月27日、31日のミュージアムサポーターの説明会には、県内外から100名以上の方が参加いただきました。続く2月17日～28日の研修会を経て、79名ものサポーターが誕生しました。新規サポーターの皆様と共に、ミュージアムは開館を迎えます。

28.3.8 ミュージアム整備、最終段階

3月26日の開館に向け、ミュージアム整備は最終段階を迎えています。



- ① ウッドデッキが完成し、あとは水を張るばかりの中庭
- ② 正面デッキも完成
- ③ 研究機器の搬入を待つバックヤード実験室
- ④ 20kW発電量の太陽光パネルも設置
- ⑤ 計200台の駐車場工事(6月末完成予定)

お知らせ

2016年4月、開館を記念して研究員リレー講座を行います。また担当研究員による展示ガイドツアーも開催します。参加には、常設展観覧券(一般:300円)が必要です。

10:30~11:30	展示ガイドツアー午前の部 【集合場所】インフォメーション前	定員 15名
13:30~14:10	研究員リレー講座 【場所】講堂	定員 100名
14:30~15:30	展示ガイドツアー午後の部 【集合場所】インフォメーション前	定員 15名

スケジュール(各日程共通)

月日	公演内容	担当研究員
4月2日(土)	「水生生物から考える地球環境史」	准教授 渡川浩一
4月3日(日)	「昆虫から考える地球環境史」	准教授 岸本年郎
4月9日(土)	「しましまから考える地球環境史」	准教授 山田和芳
4月10日(日)	「自然災害から考える地球環境史」	准教授 菅原大助
4月16日(土)	「無人島から考える地球環境史」	准教授 高山浩司
4月17日(日)	「古人骨から考える地球環境史」	主任研究員 日下宗一郎